

令和3年度 第2回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：令和4年2月9日（水）～2月22日（火）

○場 所：（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議にて開催）

○書面での回答者：委員及びオブザーバーの計20人

○書面での主な意見等

- ・「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における令和2年度のK P I 実績値の評価や推進施策の進捗状況、「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」に向けた取組について、委員から以下のようなご意見をいただきました。

●令和2年度のK P I 実績値の評価について

- ・「新規就農者」の各年度の目標値が1名なのは、目標が低すぎると思う。就農意欲のある人に対して、生活が成り立つビジョン等を示して、広く募ることが重要だと思う。
- ・コロナ禍で家庭ごみの排出量は増加傾向にあると思う。広報にプチクイズコーナー等を作り、分別に迷うゴミを取り上げ、幸田町の分別方法などを周知してはどうか。
- ・通学路交通安全プログラム対策実施について、未実施の案件はどう対処しているか。対策の実施率が100%となるよう事業を推進してほしい。
- ・コロナ禍を要因として実績値が低くなっている目標については、今後もしばらくはコロナ禍に対応する必要があると思われるが、対応策が見えない。

●推進施策の進捗状況について

- ・ロケツーリズムの推進は、観光資源として活用することで地域の活性化へつなげることが目的だが、観光客の増加等の成果はどのようになっているか。テレビ放映や映画上映等の放映日を町民に積極的に宣伝してほしい。
- ・空き家対策は、町の活性化維持と多様な町民流入の重要な施策である。現状の取組は、町のニーズでの解消方法であり根本的な解決には至っていない。空き家の所有者で具体的な活用の意向がない空き家を積極的に公開し、ニーズを引き出す活動が必要だと思う。空き家放置を防止する条例の制定も必要だと思う。

●「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」に向けた取組について

- ・「デジタルの視点」において、最も重要な「5Gの情報通信基盤の早期整備」が具体的に取組まれていないことは、産業インフラの観点で競合する他地区から甚だしく劣ることが懸念される。早期の取組が必要と考える。
- ・「グリーンの視点」において、SDG sに関わる取組の記載がないのは惜しい。世界につながる幸田町に向け、もう少し意識して記述した方が良いのではないか。また、2022年4月1日施行のプラスチック資源循環促進法、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」のCO₂ゼロエミッション化、化学農薬使用量50%削減や化学肥料30%削減、有機農業耕地を25%にする等の目標に向けた取組等について意識してほしい。

以 上